

豊かな森づくりと魅力ある林業の構築をめざして

令和3年度版 「富山県森林・林業白書」

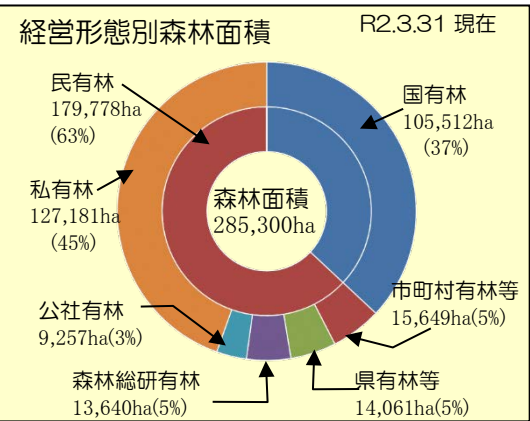


二車線化完成間近の小見線(富山市有峰)

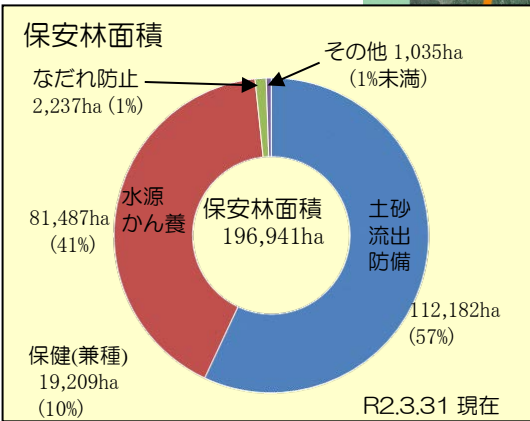


成熟した人工林での主伐(魚津市松倉)

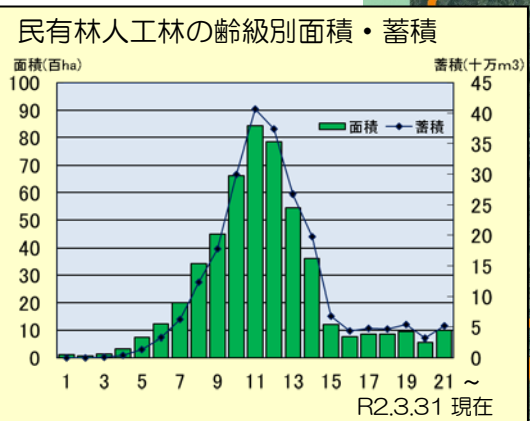
I 富山県の森林・林業の姿



本県の森林面積は約 285 千 ha で、総土地面積 425 千 ha の 67% を占めています。森林率は全国とほぼ同じ水準です。



森林の公益的機能の維持・増進が重要な森林をその目的に応じ保安林に指定しています。保安林率は 69.0% で、全国の都道府県で最も高くなっています。

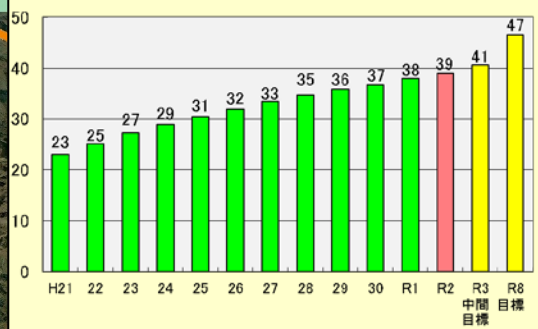


県内の人工林は、木材として利用可能な 9 齢級以上の森林が、面積全体の約 8 割、蓄積全体の約 9 割を占めています。



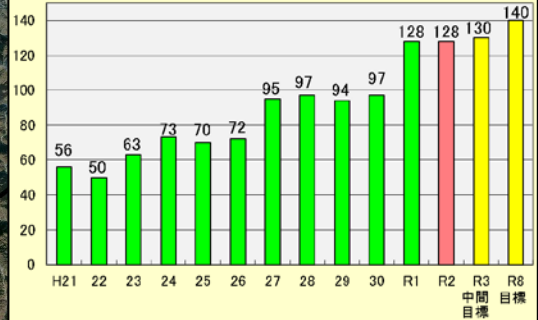


間伐実績累計の推移 (単位:千 ha)



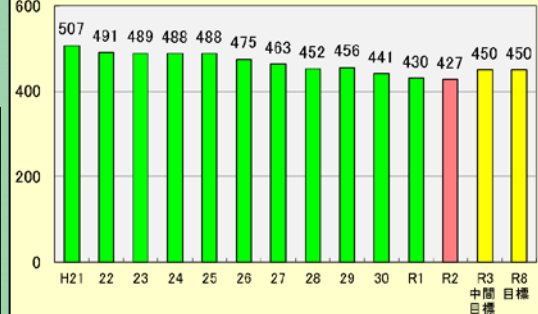
二酸化炭素の吸収源対策としても重要な役割を果たしている間伐を毎年約 1,100ha 実施しています。R2 年度には目標値の 84%となっており、引き続き整備を進めていく必要があります。

県産材生産量の推移 (単位:千 m³)



県内の人工林資源が充実してきたことや、林内路網の整備や高性能林業機械の導入等を積極的に進めてきたことから、近年、増加傾向にあります。R2 年は、対前年比 100%の 12 万 8 千 m³となりました。

林業就業者の推移 (単位:人)



林業就業者は減少傾向にありますが、平均年齢(森林組合)は 60 歳 (H5) から 50 歳 (R2) と若返っています。また、意欲ある若者の定着につなげるため、通年雇用化を図り、安定した雇用環境を創出し、定着率を高める取り組みを行っています。

目次

- I 富山県の森林・林業の姿…………… 1
- II 富山県森林・林業振興計画の概要…………… 3
- III 目標の実現に向け、令和2年度に講じた主な取り組み…………… 5
 - 森を活かす
 - 木を使う
 - 森を守る
- IV 富山県森林・林業振興計画の参考指標と令和元年度実績…………… 18
- V 令和2年度の森林・林業に関する主な出来事…………… 19

II 富山県森林・林業振興計画の概要

本県の森林・林業の現状と課題(第1章)

- 森林資源の循環利用の推進
本格的な利用期を迎えた人工林のフル活用
- 林業担い手の確保・定着
人手不足が進む中、林業担い手の確保と定着率の改善
- 県産材の利用促進
安定供給体制の整備と需要の拡大
- 県民参加の森づくりの一層の推進
全国植樹祭を契機とした県民参加の森づくりの機運の継承
- 集中豪雨などによる山地災害への対応
災害に強い森づくりや流木対策などの推進

【本計画の位置付け】

本計画は県の総合計画である「元気とや

森林・林業・木材産業の目指す方向(第2章)

森づくりの基本指針 森づくりプランに活用した、100

目標 豊かな森づくりと魅力あ

目指す方向 【森づくり】
水と緑に恵まれた県土を
に強い森づくりが進んでい

森づくりプランに基づき、里
様な森づくりや森づくりを支え
れるとともに、森林整備や治
より、災害に強い森林が造成

新・総合計画の政策

【活力14】

森林整備と林業の振興、
県産材の活用促進

- ・森林資源の循環利用と生産
基盤の整備
- ・県産材の安定供給体制の整
備と木材の需要拡大
- ・林業事業体の経営基盤の強
化と担い手の育成・確保

【未来28】

水と緑の森づくり・花と緑
の地域づくり

- ・水と緑に恵まれた県土を支
える多様な森づくりの推進
- ・とやまの森を支える人づく
りの推進
- ・県民緑化運動の推進と花と
緑のあふれる地域づくり

【安心21】

防災・減災・災害に強い県
土づくり

- ・治山・治水・土砂災害対策の
推進
- ・津波・高波・海岸侵食対策の
推進
- ・公共施設の計画的・効率的な
維持管理の推進

施策の体系

森を活かす(伐って・植えて・育てる)

1 森林整備と森林資源の循環利用の推進

- (1) 事業地の大規模集約化の推進
- (2) 「生産林」の健全な育成と主伐、再造林の推進
- (3) 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の生産体制の整備
- (4) 森林経営の確立に向けた生産基盤の整備
- (5) 新たな森林管理システムの推進

2 林業担い手の確保・育成

- (1) 林業担い手センター等による担い手の確保
- (2) 富山県林業カレッジ等による担い手の育成

3 林業経営基盤の強化

- (1) 林業事業体の育成と経営基盤の強化
- (2) 農林水産公社営林の経営改善と適正な管理
- (3) 県営林の適正な管理
- (4) 特用林産物の振興

4 新たな技術開発と普及指導の推進

- (1) 林業の低コスト・省力化のための新たな技術開発の推進
- (2) 持続可能な林業経営に向けた林業普及指導の推進

木を使う(県産材等の木材の利用促進)

5 安定供給体制の整備

- (1) 林業生産性の向上
- (2) 品質・性能の確保と流通の円滑化

6 需要の拡大

- (1) 住宅や公共建築物等での利用促進
- (2) 新たな需要を創出するための研究開発
- (3) 設計者等の育成・確保
- (4) 理解の増進と木育の推進

森を守る(多様な森づくり・災害に強い森づくり)

7 県民参加の森づくりの推進

- (1) 里山林や混交林等の整備の推進
- (2) 森づくりを支える県民意識の醸成
- (3) 森林ボランティア等による森づくり活動への支援

8 災害に強い森づくりの推進

- (1) 保安林の適正な管理と林地の保全
- (2) 県民の生命・財産を守る治山事業の推進
- (3) 森林病虫獣害対策の推進

人を育てる

「ま創造計画」の森林・林業・木材産業分野に関する計画として、県の森林・林業行政の基本指針になります。

第2章)

目標年次：令和8年度

に基づき、「里山林」「保全林」「生産林」「混交林」に区分し、新たな森林管理システムなど
年先につなぐ多様な森づくり

る林業の構築

○計画のポイント「伐って、使って、植えて、育てる」
成熟期を迎えている森林資源の循環利用の推進

支える多様で災害
あること

【林業・木材産業】

地域林業の担い手により、持続可能な森林経営が行われているとともに、県
産材が安定的に供給され、需要拡大が図られていること

山林の整備などの多
る人づくりが実施さ
山施設の設置などに
る。

森林資源の循環利用と林業・木材産業の成長産業化に向け、新たな森林管理システ
ムやICT等を活用したスマート林業の導入などにより**主伐面積が3倍に増加**するととも
に、需給情報の共有化や需要拡大により**県産材の利用量が4割増加**。

冬期林業の普及などにより伐採作業従事者の**通年雇用が促進**され、その所得が4割
増加*。 *森林組合の伐採作業の従事者を対象に県で試算

標の実現に向けた推進施策(第3章)

主な取り組み内容

- ・航空レーザ計測により詳細な森林資源情報を整備し、森林境界の画定や施業集約
化に活用するほかデータ共有による需給のマッチングなど、**スマート林業**を推進
- ・森林資源の循環利用に向け、人工林の計画的な主伐と、伐採後の優良無花粉スギ
「**立山 森の輝き**」による**再造林**を推進
- ・水源の涵養や地球温暖化の防止などを図るため、間伐等の森林整備を推進
- ・県産材を低コストで安定供給するため、路網整備や高性能林業機械の導入を支援
- ・**新たな森林管理システムの円滑な実施**に向け、「**森林経営管理総合支援センター**」
を設置し、市町村による、森林経営管理を支援
- ・高校生等を対象とした**林業体験**の開催や、林業就業に関する情報発信サイト
「**とやまの林業就業ナビ**」を開設し、県内外からの新規就業者を確保
- ・**冬期林業の普及**により事業体間での**労働力の融通を通じた通年雇用**を促進
- ・効率的な素材生産技術の習得など経験や役割に応じた人材を育成
- ・新たな森林管理システムの担い手となる意欲と能力のある林業経営者を育成
- ・県営林の適正な管理により計画的かつ効率的な県産材の供給を推進

- ・「**とやま県産材需給情報センター**」により、川上の供給情報と川下の需要情報の
共有化を図るなど**需給マッチングの円滑化**を推進
- ・品質・性能の確かな県産材製品の供給を促進

- ・県産材を使った住宅の事例紹介や見学会などによる住宅での利用促進
- ・県産材利用のシンボルとなる公共建築物等の木造化や内装木質化を推進
- ・**県産材活用マニュアルの普及**により民間の建築物での県産材利用を促進
- ・**中大規模のCLT等**を活用した木造建築物を設計できる人材を育成

- ・地域住民との協働により地域や生活に密着した明るい里山林の整備を推進
- ・過密人工林や侵入竹林の整備により針葉樹と広葉樹が混在する混交林に誘導
- ・「**とやまの森づくりサポートセンター**」によりボランティア団体等の森づくり活動を
支援

- ・**流木被害の未然防止**に向け、適切な森林整備と流木捕捉機能を備えた治山ダ
ムの整備や渓流内での流木危険木を除去
- ・海岸林を中心とした、松くい虫被害などを適切に把握し効果的な防除を実施

主な参考指標(H28 ⇒ R8)

- 新 主伐面積[人工林](年間)
32ha ⇒ 100ha
- ◎無花粉スギ植栽面積(累計)
42ha ⇒ 500ha
- ◎間伐実施面積(累計)
34,784ha ⇒ 46,607ha
- 新 森林境界画定面積(累計)
4,929ha ⇒ 12,000ha
- 新 路網整備延長[人工林](累計)
1,818km ⇒ 2,498km
- ◎林業就業者(年間)
452人 ⇒ 450人
- 新 林業就業者*のうち、通年雇
用者の割合(年間)
*森林組合の伐採作業の従事者
64% ⇒ 100%

- ◎県産材素材生産量(年間)
97千m³ ⇒ 140千m³
- ◎公共建築物等の木造率(年間)
14% ⇒ 25%以上
- 新 公共建築物等での県産材
利用実績(累計)
243棟 ⇒ 830棟

- ◎里山林の整備面積(累計)
2,628ha ⇒ 4,600ha
- ◎県民参加による森づくりの
年間参加延べ人数
12,439人 ⇒ 13,000人以上
- 新 流木被害防止対策着手数
(累計)
一箇所 ⇒ 20箇所
(R3年度)

(森づくりや林業・木材産業を支える人づくり)

III 目標の実現に向け、令和2年度に講じた主な取り組み

森を活かす（伐って・植えて・育てる）

本格的な利用期を迎えている人工林での森林資源の循環利用（伐って、植えて、育てる）を推進するため、林業生産性の向上や担い手の確保、林業事業体の経営基盤の強化、新たな技術開発などに取り組みました。

※下記アイコンは、SDGs（持続可能な開発目標として、2015年国連サミットで採択された国際目標）のうち、本項目に関連するものを示しています。（以下、同様）



1 森林整備と森林資源の循環利用の推進

(1) 事業地の大規模集約化の推進

●森林境界の画定の推進

森林の整備や施業集約化に不可欠な森林境界の画定のための調査・測量に対し支援しました。

【実績】

- ・森林境界画定実施面積 228ha

●ICT等を活用したスマート林業の推進

航空レーザ計測や計測結果の解析を行い、詳細な森林資源情報や微地形表現図を整備しました。

【実績】

- ・航空レーザ計測面積 33,604ha
- ・航空レーザ解析面積 96,901ha



《令和3年度に新たに講じる施策》
・航空レーザ計測により整備した詳細な森林資源情報や木材の需要情報などを市町村や林業・木材産業関係者で効率的に共有する「森林クラウド」を構築します。

●施業の集約化の推進

森林の持続的・効率的な経営を推進するため、森林を面的にまとめて具体的な経営方針を示す森林経営計画の策定を推進しました。

【実績】

- ・森林経営計画策定面積（累計） 37,416ha

(2) 「生産林」の健全な育成と主伐、再造林の推進

●森林経営計画に基づく計画的な森林整備の推進

計画作成者を対象に、間伐等の森林施業や森林作業道の開設にかかる費用等を支援しました。

【実績】

- ・間伐（造林事業関係）
 - 造林事業 348ha
 - 間伐材生産推進事業 174ha
 - 県単独森林整備事業等 2ha
- ・森林作業道 93.9km



●計画的な主伐と無花粉スギによる再造林の推進

小規模、分散している主伐可能森林をとりまとめ、効率的な出材を促進するとともに、優良無花粉スギ「立山 森の輝き」による再造林を支援しました。

【実績】

- ・主伐可能森林の集約化 16ha
- ・「立山 森の輝き」の植栽 29ha

(3) 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の生産体制の整備

●「立山 森の輝き」の増産体制の確立と民間生産者の育成
生育期間が短く低コストで大量生産が可能となる、挿し木による苗木生産に向け、県砺波採穂林の整備を進めるとともに、コンテナ苗生産に取り組む民間生産者を対象に、巡回指導や技術研修会を開催するなど、技術力の向上と新たな生産者の育成に取り組みました。

【実績】

- ・採穂林造成 0.5ha
- ・採穂林植栽 5,000本
- ・コンテナ苗生産に取り組む民間生産者 5者
- ・民間生産者への巡回指導 2回、技術研修会 1回



(4) 森林経営の確立に向けた生産基盤の整備

●林業の生産性向上を図る路網整備の推進

林業生産コストを低減するため、地域林業の骨格となる林道に加え、大型トラックが通行できる簡易な構造の林業専用道を整備するとともに、効率的に集材を行うために、より高密度な森林作業道を整備しました。

【実績】

- ・林道 ()内は未完成延長
山のみち 0.4 (1.0)km
森林基幹道 2.6 (1.4)km
森林管理道 0.2 (0.1)km
- ・林業専用道(規格相当) 1.8km
- ・森林作業道 93.9km [再掲]



(5) 森林経営管理制度(新たな森林管理システム)の推進

●森林経営管理制度の推進

令和元年4月に設置した「富山県森林経営管理総合支援センター」において、市町村に対する森林経営管理に関する必要な助言や指導、情報提供などを実施しました。

【実績】

- ・市町村職員対象研修会 2回、38人参加
 - ・意向調査の実施 10市町
 - ・経営管理権集積計画の作成 3市町
- 意欲と能力のある林業経営者の育成
市町村の委託を受けて経営管理を実施する林業経営者を公表しました。

【実績】・意欲と能力のある林業経営者 12者



トピックス 伐採と造林の一貫作業システム※の実証

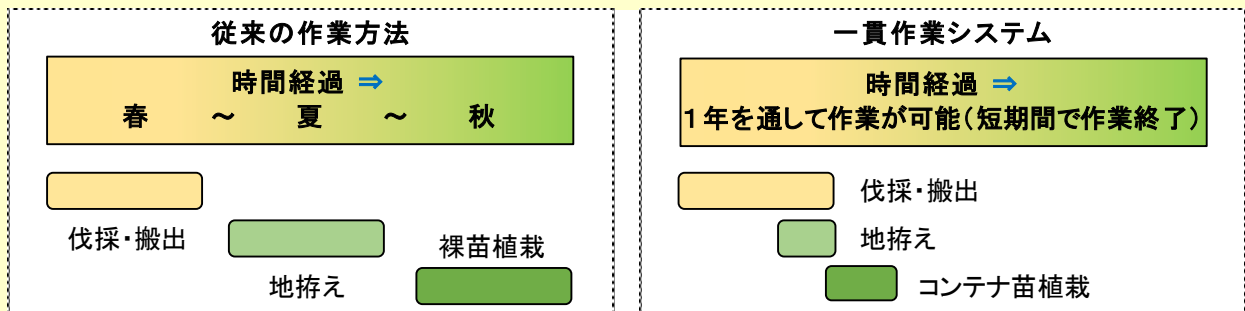
県内の人工林は本格的な利用期を迎えており、森林資源の循環利用に向け、森林施業の低コスト化を通じて森林所有者等の負担軽減を図り、主伐後の再造林を適切に進めていくことが重要です。

特に、主伐後の「地拵え、植栽、下刈り」という一連の造林初期保育作業は全育林経費の7割を占め、これらの作業の低コスト化を図る必要があります。

このため、県では令和2年度より立山町内の県有林において「伐採と造林の一貫作業システム」をモデル的に実施し、実証を進めています。

※伐採や搬出に使用した林業機械を用いて、伐採してすぐに伐採跡地に残された末木枝条を除去して地拵えを実施し、これらの機械で苗木を運搬した上で、植栽を行うシステム。

従来の作業方法と一貫作業システムとの違い（イメージ）



伐採木搬出状況



地拵え及び植栽完了後の状況

トピックス 優良無花粉スギ「立山 森の輝き」県外初出荷

富山県では、全国に先駆けて開発した優良無花粉スギ「立山 森の輝き」の生産と普及を進めており、令和元年度までは、県委託事業等で年間約4万本の生産を行っており、県内需要を十分に満たすことが出来ませんでした。そこで、民間事業者へ技術移転を進め、令和2年度からこの民間事業者の出荷が始まるのを契機に、令和2年10月に林業用としては初めてこの無花粉スギの苗木が、県外に出荷されました。

出荷先は、福井県のあわら森林組合で、射水市の生産者の苗畑で大型トラック2台分、5千本のコンテナ苗が引き渡されました。当日は、出荷する生産者も取り次ぎの森林組合連合会の担当者も初めてのことで、前日から梱包をして準備しており、40本毎にネットで梱包された苗を手際よくトラックに積み込んでいました。

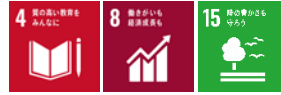
県と樹苗緑化組合では、当面年間10万本の生産を目指しており、県内の再造林地に供給するとともに、県外にも一定程度の出荷を継続する予定です。



出荷苗の積み込み状況

2 林業担い手の確保・育成

【人を育てる】



(1) 林業担い手センター等による担い手の確保

●林業就業者の確保

林業就業に関する一元的な情報発信サイト「とやまの林業就業ナビ」で林業就業のPR動画を公開したほか、ハローワークと共同で就業相談会の開催や、首都圏等大都市で開催される林業就業者相談会に参加するなど、新たな担い手の確保に取り組みました。

【実績】

- ・就業相談会（県内） 11回 46人参加
- ・就業相談会（県外） 2回 23人参加
- ・新規就業者36名（うち県外出身者1名）



高校生や大学生、就業希望者を対象に、体験林業や基本的な林業技術講習を実施しました。

【実績】

- ・体験林業 8回（高等学校6回、大学1回、一般1回）、154人参加
- ・林業就業支援講習 1回 8人参加

●林業就業者の定着

冬期林業の普及により、林業事業体間での労働力の融通を通じて通年雇用を促進するとともに、林業現場で働く林業就業者が、川下の製材施設や木造施設の見学を通じて、自身の作業とのつながりや、やりがいを再認識し、現場作業に活かしてもらうための見学会を開催しました。

【実績】

- ・林業就業者*の通年雇用者の割合（年間） 68% *森林組合の伐採作業の従事者
- ・県産材木造施設見学会 2回 22人参加

林業・木材製造業労働災害防止協会と連携し、安全巡回指導等を実施しました。

【実績】

- ・安全巡回指導 14回
- ・労働災害救助訓練 1回 54人参加

(2) 富山県林業カレッジ等による担い手の育成

●経営・計画に関わる技術者の育成

将来の森林管理ビジョンを描き実現できる人材や、効率的な集約化施業を実現できる人材を育成しました。

【実績】

- ・森づくりプロデューサー養成研修 18日間 9人参加
- ・森林施業プランナー育成研修 5日間 2人参加

●効率的な素材生産等を担う技術者の育成

高い生産性と安全性を確保しつつ、素材生産や森林作業道整備などを行うことのできる現場技術者を育成しました。

【実績】

- ・フォレストワーカー（林業作業士）研修 1年次～3年次 73日間 22人参加
- ・フォレストリーダー（現場管理責任者）研修 15日間 13人参加
- ・このほか、伐木技能高度化研修、路網作設高度技能者育成研修などを開催



3 林業経営基盤の強化



(1) 林業事業者の育成と経営基盤の強化

●森林組合の経営基盤の強化

森林組合関係者で進められている合併構想に対して指導・助言を行ったほか、事業執行体制の強化を図るための指導、検査等を実施しました。

【実績】

- ・常例検査 2組合

(2) 農林水産公社営林の経営改善と適正な管理

●将来収支の改善と森林の適正な維持管理

土地所有者の理解のもと、分収比率の見直し（公社8：土地所有者2）や契約期間の延長（80年）を進めるとともに、森林の有する公益的機能の維持・向上を図るため、間伐等の森林整備や抜き伐りによる広葉樹の導入を促進する「非皆伐長伐期施業」に取り組みました。

【実績】

- ・契約変更 26件（延べ936件 進捗率94.6%）
- ・非皆伐長伐期施業（抜き伐り） 82ha

●伐採収入増大と安定的な県産材の供給

低コスト生産に必要な森林作業道などの路網整備を進めるとともに、利用間伐や抜き伐りによる県産材の供給に取り組みました。

【実績】

- ・森林作業道開設 15.3 km
- ・間伐材生産量 4,739m³

公社営林の状況（南砺市丸山）



(3) 県営林の適正な管理

●適正な管理と計画的な契約更新

公益的機能を十分発揮できる森林を造成するため、間伐等の保育施業を計画的に実施するとともに、契約更新に係る変更契約の締結に取り組みました。

【実績】

- ・間伐 22ha
- ・変更契約 1件（契約者30名）

●計画的な県産材の供給

森林作業道の整備等による効率的な搬出間伐や立木売払を推進しました。

【実績】

- ・間伐材生産量 554m³
- ・主伐売払 3件（15.2ha 7,953m³（立木材積））

県営林の主伐実施状況（魚津市松倉）



サナギタケの栽培状況



(4) 特用林産物の振興

●地域特性を活かしたキノコ等の生産技術の開発

機能性キノコである冬虫夏草の一種で、抗ガン作用のある物質を産するサナギタケについて、安価で有用物質をより多く生産できる栽培方法を確立しました。

4 新たな技術開発と普及指導の推進

(1) 林業の低コスト・省力化のための新たな技術開発の推進

●森林資源の循環利用を推進する技術の開発

無花粉スギ苗木生産の拡大を図るため、休耕田を活用した無花粉スギコンテナ苗の省力的水耕栽培技術を確立しました。

高齢コナラ林の伐採前の林床光環境の改善や、伐採後の競合植生制御による実生更新の促進技術を開発しました。

●県民生活の安全・安心に貢献する森づくりの推進

県内のブナ林、ミズナラ林等において着果状況の調査を行い、作柄を明らかにし、クマ出没予測に活用しました。

県内のスギ林における花粉の着果状況調査などから、1シーズンあたりのスギ花粉飛散量や飛散開始日、1日の花粉飛散数の予測を行い、広く県民に情報提供しました。

●研究成果の県民への提供

林業関係者はもとより、広く県民に対し、わかりやすく研究情報を発信するとともに、パンフレット等を通じた技術の普及を図りました。

【実績】

- ・森林研究所研究成果発表会 R3.1.19 開催 61人参加
- ・「とやま森林研究所だより」 600部発行
- ・「研究レポート No.22」 600部発行
- ・「研究報告 No.13」 300部発行
- ・「とやまの森と技術 No.4」 200部発行
- ・「業務報告」 200部発行



休耕田を活用したコンテナ苗の水耕栽培

とやま森林研究所だより



(2) 持続可能な林業経営に向けた林業普及指導の推進

●面的なまとまりのある持続可能な森林経営の推進

効率的に森林整備を進めていくため、林業事業者に対し、森林経営計画の作成等による集約化施業を指導するとともに、森林・林業に関する専門的かつ高度な知識や技術等を有する森林総合管理士（フォレスター）を育成しました。

【実績】

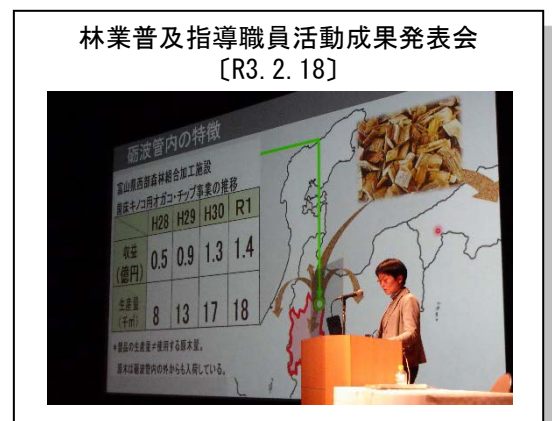
- ・森林経営計画策定面積（累計） 37,416ha [再掲]
- ・フォレスター新規登録 1名（累計26名）

●森林・林業に関する技術・知識の普及・指導

効率的な主伐を実施するための知識・技術等を普及しました。

【実績】

- ・林業普及指導職員活動成果発表会 R3.2.18 開催 113人参加
- ・地区座談会 17回開催



木を使う（県産材等の木材の利用促進）

県産材等の木材の利用を促進するため、県産材の安定供給体制の整備や需要の拡大を進めました。

5 安定供給体制の整備

(1) 林業生産性の向上

●生産性の向上を図る路網整備等の推進

路網整備や高性能林業機械の導入を支援しました。

【実績】

- ・ 林業専用道（規格相当） 1.8km [再掲]
- ・ 森林作業道 93.9km [再掲]
- ・ 高性能林業機械の導入 4台
 - グラップル付トラック 1台
 - フォワーダ 2台
 - グラップルソー 1台



高性能林業機械（フォワーダ）
（南砺市砂子谷）

(2) 品質・性能の確保と流通の円滑化

●需要に応じた品質・性能の確かな県産材の供給体制の整備木材加工施設への支援により、品質・性能の確かな県産材製品の供給を促進しました。

【実績】

- ・ 木材加工流通施設整備 2箇所
（うち木材乾燥機の導入 1箇所）

●川上から川下までの関係者の連携強化

「とやま県産材需給情報センター」により、県産材の供給情報と建設予定物件の県産材使用量などの需要情報の共有化を図るなど、需給マッチングの円滑化を推進しました。

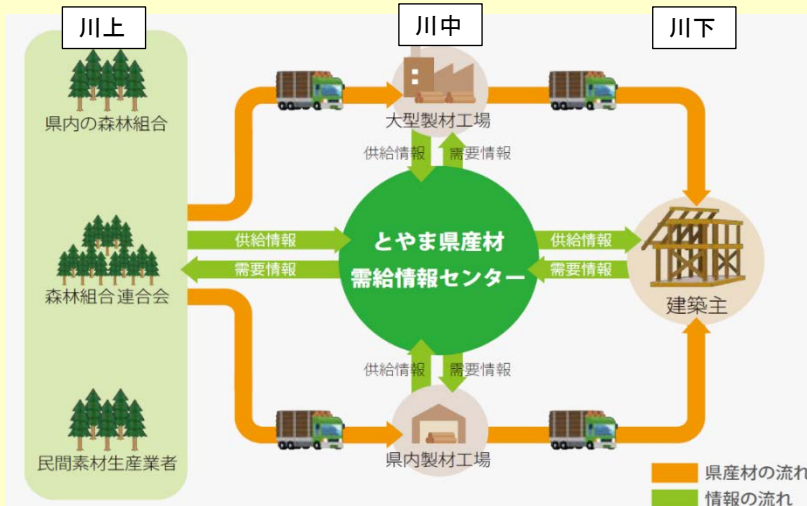


木材加工施設に導入した木材乾燥機
（高岡市能町）

トピックス 県産材のサプライチェーンの構築

本県では、「とやま県産材需給情報センター」が中心となり、川上から川下に至る関係者（19者）により「富山県サプライチェーンマネジメント（SCM）推進フォーラム」が設立され、県産材の需給情報の共有化によるサプライチェーンの構築に取り組んでいます。

令和2年度には、「富山県版木材特記仕様書」や「とやま県産材木材規格」を作成し、設計者等が県産材を利用しやすい環境を整えました。



構造材(柱)

樹種：スギ
寸法：厚 105・120・150 (mm)
巾 同上
長 3000・4000・5000・6000
等級：特一

構造材(梁・桁)

樹種：スギ
寸法：厚 105・120・150 (mm)
巾 150・180・210・240・270・300・330・360・390
長 3000・4000・5000・6000
等級：特一

- 1 -

とやま県産材需給情報センターを中心とした県産材のサプライチェーン

「とやま県産材木材規格」

6 需要の拡大



(1) 住宅や公共建築物等での利用促進

●住宅分野における利用促進

県産材を使った住宅建設に対する支援等を実施しました。

【実績】

- ・とやまの木で家づくり支援事業 47棟
- ・とやまの木で家づくり応援工務店 19社
(R3.3末現在)
- ・県産材アドバイザー 75名 (R3.3末現在)

●非住宅分野における利用促進

CLT(直交集成板)などの新たな製品の普及や、県産材を利用する際に必要となる品質や調達方法等を解説した「とやま県産材活用の手引き」の設計者や事業者への普及に取り組みました。

【実績】

- ・CLT事例検討ワークショップ 1回 37人参加

●土木工事・工作物等での利用促進

「富山県木造公共建築物等推進会議」を開催(R2.10.23) 県産材を使った製品や活用事例等の情報を提供するとともに品の導入に対する支援事業を行いました。

【実績】

- ・県産材備品導入 4施設

支援事業を活用した県産材住宅
(富山市内)



CLT事例検討ワークショップ
[R3. 2. 26]



公共施設への備品導入
(富山県北方領土史料室)



(2) 新たな需要を創出するための研究開発

●地域の木材産業と連携した安全・安心な木造建築技術の開発

木材研究所では、県産スギの構造利用技術の開発を進め、成果の一部を建築設計士向けに公開実験しました。また、企業等からの共同研究や依頼試験に積極的に応じました。

【実績】

- ・企業等との共同研究 8社(7件)
- ・依頼試験 30社(67件)

(3) 設計者等の育成・確保

【人を育てる】

●中大規模の木造建築物を設計できる人材の育成

民間の建築技術者等に対し、県産材の活用について理解を深めてもらうことを目的に、講習会等を開催しました。

【実績】

- ・木造公共建築講座 2回 89人参加
- ・林産技術講習会 2回 125人参加

林産技術講習会
[R2. 9. 17]



●若い世代に木造建築の魅力を伝える機会の創出

県内の建築を学ぶ学生等を対象に、木造住宅の設計コンペを開催し、木造住宅を設計する機会を創出しました。

【実績】

- ・とやま県産材住宅設計コンペ
 応募数 16 点（4 校）

(4) 理解の増進と木育の推進 **【人を育てる】**

●県民への木材利用の普及啓発

10 月の「とやまの木づかい推進月間」を中心に、関係者が連携・協力し、県産材の利用促進に向けたイベントなどの広報活動を実施しました。

【実績】

- ・「2020 年とやまチビ子とんかち大将コンクール」
 応募総数 40 点
- ・「とやま木と住まいフェア 2020」 約 200 人参加
 公開実演（スギ材の曲げ試験ほか）
 木工教室の開催（椅子づくりほか）等
- ・「ウッディとやま」開催（総曲輪グランドプラザ）
 県産材こどもの城づくり事業の引渡式の開催等

児童館など多くの子供が集まる施設への県産材遊具の導入を支援しました。

【実績】

- ・県産材こどもの城づくり事業
 （屋外遊具の製作・設置） 4 施設
- ・県産材遊具の導入支援 1 施設
- ・県産材遊具の貸出 3 回

県産材を利用した建築物を対象にコンクールを開催し、県産材を利用する設計者・施工者の意欲向上に繋がる機会を創出しました。

【実績】

- ・とやま県産材建築物コンクール
 応募数 19 点（住宅部門 8 点・非住宅部門 11 点）

とやま木と住まいフェア 2020
[R. 10. 10]（県木材研究所）



屋外遊具の設置
（富山市藤園幼稚園）



住宅部門最優秀賞〔富山県知事賞〕
「インナーパティオのある家」（富山市）



森を守る（多様な森づくり・災害に強い森づくり）

とやまの豊かな森を守り育て次世代に引き継ぐため、県民参加の森づくりの推進や災害に強い森づくりを進めました。

7 県民参加の森づくりの推進



(1)-1 里山林の整備

●県民協働による里山林の整備

野生動物との棲み分けなどを目指し、地域住民との協働により、地域や生活に密着した明るい里山の再生に取り組みました。

【実績】

- ・里山林整備 13市町 61地区 759ha
地域住民等の参加人数 1,117人
- ・4年目以降の地区への支援
12市町 75地区 835ha
地域住民等の参加人数 1,738人

地域住民による森づくり活動
(氷見市三尾)



広葉樹林の若返りを図るとともに、キノコ菌床やパルプ材等として活用するため、更新伐を実施しました。

【実績】

- ・広葉樹更新伐 75ha

●地域住民による継続的な里山林の維持管理活動

里山リーダーセミナー等により里山の利活用を促進するとともに、過疎化、高齢化などにより地域住民だけでは困難となった里山林の維持管理を支援する「森づくりサポーター」と地域住民との協働活動「里山応援隊活動」を実施しました。

【実績】

- ・里山リーダーセミナーの開催 11回 82人参加
- ・里山応援隊活動 4地区 72人参加

《令和3年度に新たに講じる施策》

- ・近年、クマなどが人里や市街地へ出没していることから、里山林の現況を調査し、野生動物との棲み分けにつながる里山林整備の進め方を検討します。

(1)-2 混交林の整備

●過密人工林や侵入竹林の整備

過密となった人工林や竹が侵入した人工林を、スギと広葉樹が混在する混交林に誘導するための整備を実施しました。

【実績】

- ・過密人工林整理 7市町 8地区 38ha
- ・侵入竹林整理 9市町 9地区 25ha

過密人工林の整理（黒部市宇奈月町

舟見明日音沢）



(1)-3 保全林の整備

●カシノナガキクイムシ被害跡地の植栽木の育成

カシノナガキクイムシの被害跡地を早急に森林へ復旧するために植栽した、ミズナラ等の実の

なる木の保育を実施しました。

【実績】

- ・下刈り 7市町 15地区 6ha

(2) 森づくりを支える県民意識の醸成

【人を育てる】

●森林環境教育の推進

森づくりへの理解を深めてもらうため、児童、生徒や一般県民を対象にフォレストリーダーによる「森の寺子屋」を開催しました。

【実績】

- ・「森の寺子屋」の開催 44回 2,211人参加

有峰の自然に対する愛着心を育む活動や高校生の森林体験等を実施する「有峰森林文化村」の活動を推進しました。

【実績】

- ・文化村活動 41回 538人参加
- ・森林文化公園施設利用者 17,357人

森の寺子屋の開催
(県民公園 頼成の森)



●県民全体で支えるとやまの森づくりの推進

「富山県水と緑の森づくり会議」を書面開催し、森づくりについて幅広く意見を伺うとともに、「富山県森林審議会森づくり部会」を開催(R2.10.6)し、水と緑の森づくり事業の評価を行いました。

(3) 森林ボランティア等による森づくり活動への支援

【人を育てる】

●「とやまの森づくりサポートセンター」による森づくり活動の支援

森づくり活動を行うボランティア団体や企業にサポートセンターに登録してもらい、活動に必要な機器の貸出や保険料の支援、「森づくり塾」による森林・林業の知識、技術に関する研修を実施しました。

【実績】

- ・サポートセンター登録者数(R3.3末現在) 140団体(5,417人) 56企業
- ・県民参加による森づくりの年間参加延べ人数 9,762人
- ・機器の貸出 511回 5,083個
- ・保険料支援 30団体
- ・森づくり塾の開催 36回 186人参加

森林ボランティア活動を体験する機会を設けるほか、登録団体・企業の交流を支援しました。

【実績】

- ・「とやまの森づくりボランティアの集い」
R2.9.19開催 県民公園 頼成の森 70人参加
- ・「かぐや姫の里の集い」
R2.10.24開催 呉羽青少年自然の家 110人参加

森づくりボランティアの集い
(県民公園 頼成の森) [R2.9.19]



●県民意見を反映した「サポートセンター」の運営

「とやまの森づくりサポートセンター運営委員会」を開催(R2.8.3)し、森づくり活動について幅広く意見を伺いました。

8 災害に強い森づくりの推進



(1) 保安林の適正な管理と林地の保全

●計画的な保安林指定と適切な管理

公益的機能の発揮が必要な森林を保安林に指定するとともに、保安林標識の設置や保安林調査員によるパトロールを定期的に行いました。

【実績】

- ・保安林種ごとの指定面積

土砂流出防備保安林	37.7ha
土砂崩壊防備保安林	2.2ha
潮害防備保安林	4.4ha
計	44.3ha
- ・保安林標識の設置 46基
- ・保安林調査員によるパトロール 8名 60回

豊かな水を育む保安林
(富山市有峰)



(2) 県民の生命・財産を守る治山事業の推進

●災害に強い森づくり・水源の森づくりの推進

災害等により機能が低下している森林について、森林の整備を治山施設の設置と併せて実施するとともに、山地災害危険地区の整備や、ダム上流等の重要な水源地域における荒廃地の復旧と併せて、水源涵養機能の高い森林に向け整備しました。

【実績】

- ・復旧治山事業 7市町 15箇所
- ・予防治山事業 4市町 5箇所
- ・緊急予防治山事業 1市 4箇所
- ・山地災害重点地域総合対策事業 3市 8箇所
- ・水源地域整備事業 1市 1箇所
- ・森林整備 33ha

また、下流への流木の流出防止のため、流木捕捉機能を備えた治山ダムの整備や、溪流内の流木危険木の除去を行いました。

【実績】

- ・流木被害の発生の恐れのある危険木の除去 3市 4箇所

崩壊地の荒廃地復旧
(南砺市入谷)



●雪害防止対策の推進

なだれ防止機能を有する森林の維持・造成を行いました。

【実績】

- ・なだれ防止林造成事業 1市 2箇所

●治山施設の老朽化対策

「富山県治山施設長寿命化計画（令和元年度策定）」に基づき、老朽化した治山施設の修繕を計画的に実施しました。

【実績】

- ・治山施設の修繕 7市町 14箇所

流木捕捉機能を備えた治山ダム
(高岡市頭川)



●海岸保全対策の推進

飛砂、潮風、強風等の被害から人家、農地等を保全するため、海岸防災林の造成と防災林の機能維持のため、下刈・間伐等の保育作業や植栽を実施しました。

【実績】

- ・保安林緊急改良事業 3市 3箇所
- ・県単独治山事業 1町 1箇所



海岸防災林の造成
(入善町八幡)

(3) 森林病虫獣害対策の推進

●森林病虫獣害に対する適切な被害把握と防除の実施

海岸林などを松くい虫被害から守るため、薬剤散布や樹幹注入による予防対策と、被害木の伐倒駆除による被害拡大防止対策を実施しました。

【実績】

- ・薬剤散布 6市町 76 ha
- ・伐倒駆除 10市町 411m³
- ・樹幹注入（立木本数）4市町 82本

ニホンジカについては、県内 40 箇所のスギ植栽地において、植栽木の採食及び剥皮の被害実態を調査し、県東部及び中部において高い頻度で剥皮被害が発生していることを明らかにしました。

トピックス 中新川郡立山町虫谷地区における地すべり災害

令和2年4月2日、中新川郡立山町虫谷地内において幅約100m、延長約180m、平均深さ約20mの規模で地すべりが発生しました。崩壊した土砂が流下し、林道塔倉山線が延長約200mにわたり決壊するなどの被害がありました。

直ちに、国の災害関連緊急地すべり防止事業の申請を行い、同年4月16日に事業採択を受け、現在、この地すべり災害の復旧を進めています。



IV 富山県森林・林業振興計画の参考指標と令和2年度実績

区分	番号	指標名	単位	基準年	実績	目標	
				H28	R2	中間目標 (R3)	目標 (R8)
森を活かす	1	森林境界面定実施面積（累計）	ha	4,929	6,713	8,900	12,000
	2	主伐面積〔人工林〕（年間）	ha	32	67	80	100
	3	優良無花粉スギ植栽面積（累計）	ha	42	129	200	500
	4	間伐実施面積（累計）	ha	34,784	39,104	40,607	46,607
	5	森林経営計画策定面積（累計）	ha	36,966	37,416	40,200	43,300
	6	路網整備延長〔人工林内〕（累計）	km	1,818	2,222	2,158	2,498
	7	林業就業者数（年間）	人	452	427	450	450
	8	林業就業者*のうち、通年雇用者の割合（年間）*森林組合の伐採作業の従事者	%	64	68	80	100
	9	認定森林施業プランナー数（累計）	人	30	34	36	42
	10	認定事業体数（累計）	者	14	16	16	19
	11	非皆伐長伐期施業面積〔公社〕（累計）	ha	—	144	150	830
	12	県営林素材生産量（年間）	m ³	9,010	6,231	9,090	10,710
木を使う	13	木材の生産性（年間）	m ³ /人日	4.0	5.9 [R1]	4.2	4.4
	14	県産材素材生産量（年間）	千m ³	97	128	130	140
	15	公共建築物等の木造率（年間）	%	14	13	25	25以上
	16	公共建築物等での県産材利用実績（累計）	棟	243	389	530	830
	17	県産材大型遊具の導入施設数（累計）	施設	23	40	43	63
森を守る	18	里山林の整備面積（累計）	ha	2,628	3,603	3,600	4,600
	19	混交林の整備面積（累計）	ha	1,290	1,533	1,550	1,800
	20	森の寺子屋の開催回数（年間）	回	122	44	130	130
	21	県民参加による森づくりの年間参加延べ人数	人	12,439	9,762	13,000	13,000以上
	22	保安林の指定面積（累計）	ha	92,462	92,622	93,200	93,800
	23	山地災害危険地区着手数（累計）	箇所	1,403	1,440	1,428	1,453
	24	流木被害防止対策着手数（累計）	箇所	—	20	20	

V 令和2年度の森林・林業に関する主な出来事

月 日	主 な 出 来 事
令和2年	
(5月24日)	(とやま森の祭典 2020 新型コロナウイルス感染防止対策のため中止) 富山県水と緑の森づくり会議(書面開催)
7月 9日	森林審議会森林保全部会
7月10日	富山県県産材利用促進会議
7月27日	富山県森林・緑化関係表彰式(令和2年度とやま県産材建築物コンクール表彰式) 〔県民会館〕
8月 3日	とやまの森づくりサポートセンター運営委員会
8月18日	富山県林政連絡会議
8月29日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修〔富山市高田〕
9月19日	とやまの森づくりボランティアの集い〔砺波市 頼成の森〕
9月26日	県政バス(県産材の利用促進ツアー)〔魚津市 星の杜小学校ほか〕
//	富山県フォレストリーダースキルアップ研修〔射水市作道〕
9月29日	農林水産技術会議
10月 6日	富山県森林審議会森づくり部会
10月10日	とやま木と住まいフェア2020〔射水市 木材研究所〕
10月18日	ウッディとやま〔富山市 総曲輪グランドプラザ〕
10月23日	富山県木造公共建築物等推進会議
10月24日	かぐや姫の里の集い〔富山市 呉羽青少年自然の家〕
11月 3日	木づかいで育むとやまっ子推進事業 木育セミナー及びワークショップ 〔富山県中央植物園〕
12月20日	第24回とやま県産材住宅設計コンペ表彰式
12月23日	富山県森林審議会総会、森林保全部会
令和3年	
1月18日	コカ・コーラ教育・環境財団からの寄附目録受領式
2月18日	林業普及指導職員活動成果発表会
3月 7日	富山県フォレストリーダースキルアップ研修〔富山市問屋町〕